成人映画

No.9

成人映画・目次　通巻第9号

■グラビア特集
女優／志摩みはる……3
セクシーなボリューム／京マチ子……6
今月のスクリーン・エロチシズム……41
可愛いお色気／パメラ・ティフィン……46

■読みもの特集
特別企画／ロケ・ルポルタージュ
「引き裂かれた情事」……8

グラマーとラブ・シーン／「サイレンサー」より……12
元ピンク女優だった「憂国」の鶴岡淑子……14
セクシー女優クイズ……16
シネマY談……17
Y談風土記……19
ピンク映画みたまま……佐藤重臣……28
クローズ・アップ／水木リカの巻……30
プロダクション・ニュース……31
二つの入浴シーン……32
万引事件のヘディ・ラマール……鈴木和夫……34
小沢エロ事師　こんどはエロ学生に……35

■二大読みもの
セクシー女優／手の美学……20
ザックバラン座談会……24
マンガ……上田一平……27

●表紙／北御門杏子
以前は松竹にいたが、芽がでないので、ピンク映画に入ってきた。「続・情事の履歴書」の主役に抜てきされた。顔が角度で変化する。20才。

●ピンアップ／加山恵子
東映京都の時代劇女優。「夜開く花」でピンク映画に登場、「引き裂かれた情事」が最近作。律義で礼儀正しく、根性もある日本的な珍しい女優だ。

成人映画・NO.9・ピンアップ

♥加山恵子

女優

志摩みはる

女優
志摩みはる

国映の芸術祭不参加作品「裸虫」でデビューしたのが、成人映画を活躍の場にするきっかけとなった。のびのびと育ったそのボリュームの見事さは圧倒されんばかり。若松孝二監督が〝素直さと根性のある点では抜群〟と評価したが、一度も嫌な表情をみせたことがないし、泣き顔をみたことがない。もっと痩せて、演技の幅をひろげるべきだが、若手女優の中ではもっとも期待されるひとりだ。

本誌特写

ぬがされた京マチ子

「脱がせる、脱がない」というやりとりがあって、とうとうかくなる線まで妥協して、セミヌードをみせたのが「他人の顔」での京マチ子。勅使河原宏監督は前作「砂の女」で岸田今日子をオール・ヌードの砂まみれにしたキャリアにモノいわせて、〝ヌードシーンよもう一度！〟とばかり、グランプリ女優にベッド・シーンをやらせた。

「全裸だけはカンベンして…」というので、パンティ一枚だけ残して、ブラジャーをとりのぞき、かくなるセクシーポーズとなったのだった。さてこのシーン勅使河原流のハダカ芸術となるか、注目したいところ。

★ロケ・ルポルタージュ★

「引き裂かれた情事」

ベットシーンの演技をつける若松監督（左）右は加山恵子

ピンク映画はあいかわらず雑草のような粘り強さで製作に余念がない。先のゴールデンウィークは一応ヒットをとばして、まずまずの成果をあげた。ピンク映画の一方の旗頭若松孝二監督はいま一カ月半に一本の割りで、演出しているが、そのバイタリティと意欲はやはり相当のもの。

そこで最近、撮影したのが「引き裂かれた情事」（創作8プロ、若松プロ製作）。

全編にエロティシズムを盛りこみながら、〃自由とはなにか〃を描こうとしている。

そこで、その撮影ぶりをロケしてみると……。

★

若松監督はこのほど渋谷に新築したマンションの一室を借りてプロの事務所にした。合理的に活用するためで決してゼイタクでもなんでもない、逆に経済的でいい結果が生まれるというのだ。

「これまでベッド・シーンやホテルのシーンを撮るときはわざわざ都内のマンションを高い部屋代払って撮影してきたが、自分のマンションだとそのままホテルになり、セットを組む必要もないし、フロ場シーンだってすぐさま使える、合理的ですよ」

と若松監督は経済を切り詰めての映画製作を実現させているのだ。

そのマンションで、この映画の一つのみどころとなるベッド・入浴シーンを撮るから——と知らせてきたので、さっそくかけつけてみた。

★

この「引き裂かれた——」は恋人（上野山公一）に裏切られた女（加山恵子）が、男の計画的殺人事件のワナにかかり、犯人にされ、刑務所に入れられる。そこを脱獄して、男に復讐するため手流弾で殺してしまうというショッキングな話だ。

初日はすぐさまマンション

全裸にパンテイーをかかげたままの姿でかけだす加山恵子

のフロ場で、ラブ、シーンやら、毒殺シーンを撮ることになった。

若松監督は自分でフロのわきかげんをみるといったサービスぶりである。彼女は恋人の上野山の策略で、社長（笠間雪雄）の二号にさせられている。その社長と加山が入浴し、彼女が笠間の体をセッケンで洗ってやるのだが、彼女はパンティ一枚のスタイルである。

★

「映倫がうるさいからオッパイは必要以上に写らないように――」と若松監督が神経を使っている。

しかし、カメラが狭まいフロ場の入口や、中に入って、手持ちで撮るのだが、どうしても彼女のパンティが写ってしまう。数回リハーサルして結局、彼女の方が

「あたしパンティ脱いじやいます」と自主的に全裸になったものだ。

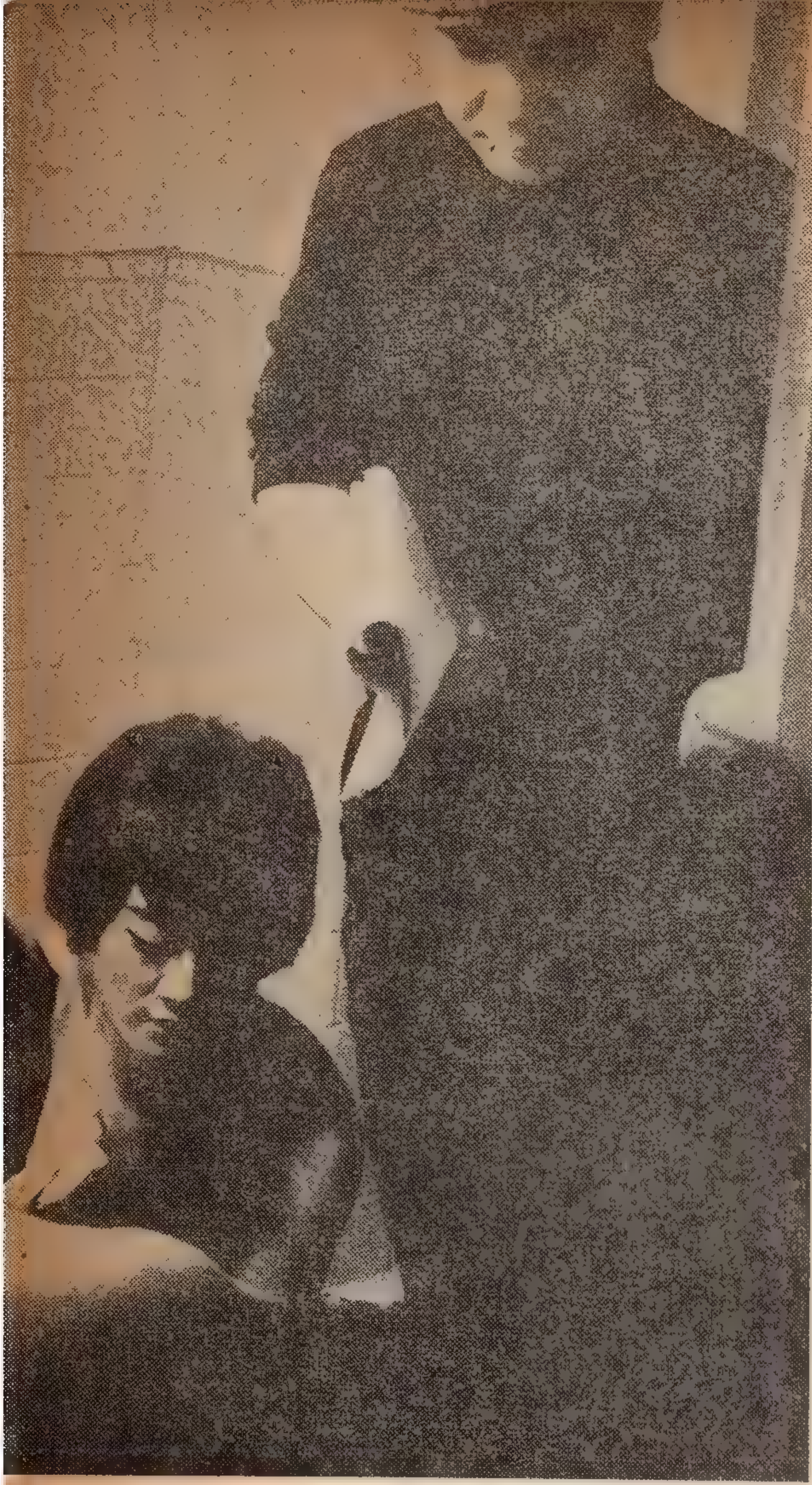
入浴しているのにパンティーをはいているのはおかしいのは当然である。それなのにこのごろの邦画五社の女優の入浴シーンとくれば、きまって水着着用とくる。かってはその脱ぎっぷりでスターになった東映の緑魔子でさえ入浴シーンは水着とくるのである。その点、この加山の意気込みはなかなかのもの。

★

彼女の女優歴をちょっと紹介すると、東映京都に所属して、「鮫」「くの一忍法」「丹下左膳」などに出演し、ピンク系映画は「夜開く花」ほか数本。

「若松先生にたたいてもらいます」と彼女は全面的にまかせた感じ。

女のハダカはピンク映画には必然的なものだ、その辺の必要性をすぐさま実行に移していく加山の前向きな行動ももうモタモタしている時限ではなくなったことをまざまざ



風呂場シーンで念入な打合わせ

と示しているようでもあった。そして脱ぐことのスピード感は一段と早くなってきたともいえる。

笠間と加山がヌードで抱き合ったり、笠間が毒殺されるシーンをとり終えたら、加山はすぐさまパンティを着用しオッパイ丸出しで笠間の背中をふいてやるサービスぶり。「あんなによく気がつき、低姿勢の女優さんも珍らしいなあー」とスタッフの声。

そのあとラストシーンで、彼女が警察陣に包囲され、小屋から全裸で、パンティを掲げて飛び出して、逮捕されるくだりがある。

そのショッキングシーンが多摩川の堤で夜間撮影となった。若松監督はよくよく全裸で走らせるのが好きらしい。さきの「情事の履歴書」では雪の中を全裸の女優に走らせたりした。こんどはまた全裸の女優の進軍である。

珍らしくゼネレーターを運び、ライトを照らしてセットの小屋から、それこそ一糸まとわない加山が、右手にパンティを降伏の白旗よろしく掲げて出てくるのである。

★

もちろんストレート。刑事役に、警官、報道関係のエキストラ十数人はおもわぬ見せばにワクワクした表情。

「ギヤラもらって彼女のオールヌードシーンを拝めるんだからいい仕事だよ」とエキストラ氏。さもありなん。

さて監督の合図で、全裸でサーッと出てきた加山のその度胸のよさ、警察陣に向って大胆に歩いてゆくのを、カメラはバックからとらえる。まさに世紀の、いや生ツバごくりの決定的瞬間である。

「彼女よくやってくれましたよ」とあまりほめたことのない若松監督は快心のエミを浮かべて、この夜のヤマ場シーンを無事に撮り終えたのであった。

★

さてこの作品、曲り角にきたといわれるピンク独立プロにカンフル的注射の役目を果すことになるかどうか興味深い。

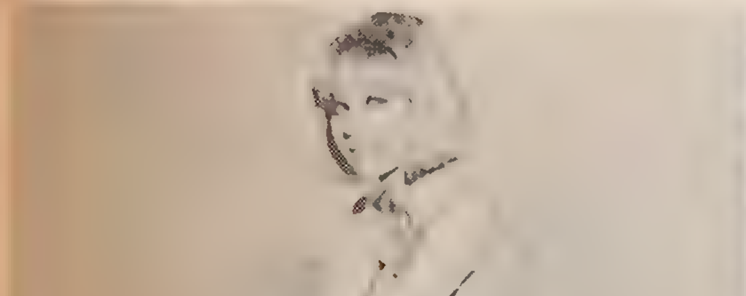
グラマーとラブシーン

★近く公開されるコロムビア映画の「サイレンサー」には主人公のディーン・マーチンを囲んでいろんなグラマーが登場します。踊りの上手なシド・シャリース（右）や、琥珀の肌が魅力のダリア・ラヴィ（左）なんてスターとラブ・シーンも見ものですが、ズラリとならんだ他のグラマーとの、あの手この手のやりとりは、ディーン君にとってはよりどりみどりの好チャンスだけにご機嫌のスクリーン。

ディーン君とかわりたいって？

ムリもたいですなアー。

14.



元ピンク女優だった「憂国」の鶴岡淑子

アートシアターでヒツトした「憂国」の鶴岡淑子と三島由紀夫

鶴岡淑子といえばアートシアターで上映し、ヒットを飛ばした三島由紀夫の短篇映画「憂国」のヒロインに抜てきされた新人女優。この僅か二十八分、三島氏の原作、脚色製作、主演、監督による作品に三島の青年将校の新妻役で全裸でベッド・シーンや短刀でノドをついて、自害するショッキングな演技をみせた。

彼女は元大映のニューフェイスで芸名を山本典子といっていたが、実はきょ年国映の「十代の呻吟(うめき)」(監督梅沢薫)に石井マリの芸名で主演したことのあるエロダクションスターだった。「十代の呻吟」は非行少年少女の話で、石井は妊娠し堕胎したり、若いエネルギーを爆発させるといったもの。

国映の「十代の呻吟」に主演の鶴岡こと石井マリ

三島氏が「憂国」をこっそり撮影するにあたって、彼女を発見したのだが、「素朴で女らしく情熱をうちに秘めたムードがある」というので起用、三島氏が芸名を鶴岡八幡宮の古風で優雅なイメージを象徴してつけたもの。

それが古風で優雅どころか実は離婚したり、新しい恋人をつぎつぎ作ったり、外人とセックスを楽しんだり……という文字通り奔放な女性。

さきごろ女性週刊誌にも書かれたが、彼女が元エロダクションスターとはよもやご存知あるめえというところだ「とりたてて演技がうまいという女優ではなかったが、どことなく、自由奔放な性格だった」と当時のスタッフが語っている。最近、喫茶店のウエイトレスをやっていたが、映画の方はいまだにお呼びではない。

〈懸賞〉「セクシー女優クイズ」この女優は誰?

第3回目のクイズの問題。シャワーシーン入浴シーンは映画の中のセクシーさを一そうかきたてるものです。なにげない、この奔放なカオで、オケの水をかぶる女優はなんという女優でしょうか。●第1ヒント＝「渡り鳥

「網の中の女」

映画会社は自社の作品を一律に映画館に流してゆくというやり方をやめる時期にきたいまの邦画は五社の系統とエロダクション系の二通りしかないといってるのが、映画評論家の佐藤忠男氏（宝石六月号）ごもっともである。特撮のジャリ向きのものと、おとな向きの駅前なんとかややくざものを二本見せられては、みた大人も子供も自分に合わない映画にアクビし、料金半分返してくれといいたくもなろう。だからこの際邦画は女性系、ピンク系、子供向き、芸術劇場（日本映画にはめったにないが）などと分離した映画館を早く実現させるべきなのだ。その点ピンク映画専門館で前進したピンク系独立プロは邦画界のパイオニアということになる。

★

「網の中の女」でデビューしたKという女優がいる。ある消息通の話によると、彼女が京都の千中ミュージックホールに出演したという。千中ミュージックといえば、関西、いや、日本でも有名な全ストショーの劇場だ。バタフライをはじめっから全員着用せずかなりきわどい、ショッキングショーをみせる。そこで彼女が全裸で踊っていたというのだから、関西の映画関係者は「もうダメだね、あそこまで行けば」と苦い顔。なんでも三十万円の契約金前渡しでハッスルしたそうだ。

ピンク女優もここまでくればラストだ。もう決して映画界では使うまいというのが周囲の結論。

★

座頭市的な英雄が現代に現われたらというアイデアで、新藤兼人が勝新太郎のために書いたのが「酔いどれ博士」

その中で、バーのホステスでカルメンお春という江波杏子が盲腸を手術してもらうのだが、お春から「私のテイソウをみたからは結婚してくれなけあイヤ！」と居直られるシーンがある。盲腸手術シーンがこれまた傑作。勝のニセ医者が西洋カミソリを手にして江波のジヤマになる毛をそり落とすのだが、「ホントにそらないとリアル感がでないよ、監督さんやろうじゃないか」と真顔の勝に江波は「助けてパイパンはいやよオー」と泣き出さんばかりになったとか。「冗談だよ」と勝があわて出して江波が「あわてる勝さんのカオをみたかったわ」とは役者が一枚上でした。

江波杏子と勝新太郎

★誌上リバイバルセクシー劇場

大映の若尾文子ほどベッドシーンを演技しつづけた女優も珍らしい。「十代の性典」でデビューしセクシー女
ひとたびエクスタシーの表現演技をやらせたら、日本女優のNo1である。これは「まんじ」（監督増村保造）での代表的な場面。

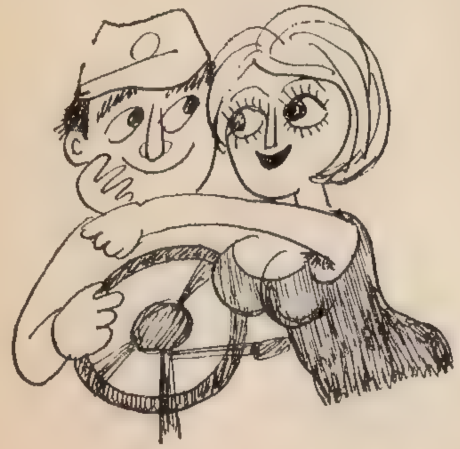
♥シネマY談・あんなハナシ　こんなハナシ

東上線沿線の**埼玉県大和町**ネオン街といっても街道沿いにたそがれムードの外人バー運転手相手の安食堂が十数軒パラパラっとあるだけだが、ここが知る人ぞ知るセックスゾーンのアナ場。旅館もなく窓一つないバラック建て。ゴザ敷きのところどころの穴から夜は月光が洩れてくるという簡易ハウスが取引場所。

訪れる外人兵も少くなっていまはもっぱら街道を走るダンプカー、トラックの運転手がお客さん。車を止めて一発という土地柄だけに一回十分というスピード商法だがそれだけに都心にはない一発千五百円というお値段。ポン引き婆さんなどもいるがチップ百円という浮世離れした紹介料でOK。

郊外のアバンチュールでとお出かけの人は大和町でタクシーを拾って**南栄町**といえばよい。百円のチップもやれば喜んで案内をしてくれる。タクシー代は最短の百二十円。

大宮から少し入った**岩槻市郊外**にある前穴天神社。水郷ムードの田園のまん真中の神社前にどおいうわけか五軒ほどの川魚料理店があって日中から和服の上に割っぽう着をつけたお色気いっぱいの年増が客引きをしている。なまずの天ぷらなどというオツなものがあり「とってもスタミナがつくのよ」と身を寄せる。



押入れにはチャント布団があってどこかの元赤線のように座布団などというケチなことでなく、布団を立派に活用してのサービスがなにより。

おまけにローカルならではの格安さで部屋も離れふう。女中さんは自分のことは別としてアベックが川魚料理を食べに来ながらハッスルしてるのよとしきりにコボす。

旅館でないので部屋代は取らず、料理代だけでいいのだから食べて楽しめて経済的と着眼点はいい。それ目当ての自家用車族には利用価値は大なり。

ア・ゴーゴーの強烈なビートにあわせて水槽の中で、アチラの裸女が身をくねらせているというズバリ外国そのもののフンイキの店が横浜中華街入口の「レッドシューズ」。ピークは午前一時─三時外国船員・米兵・不良外人に毛色の変った外国女が多く国際ムード一ぱい。

★

ストリップ界もいま生まれたままの姿を見せるのが常識ソコでストリッパーもアソコが商売だけに色々と細工をするのが流行。まずアソコをバタフライをつけたように刺青これだとソックリ脱いでも何やらつけているようでカモフラージュにもなるし活用次第でなかなかの効果。

またウールにナイロン毛をていねいに植えこんだツンパ。立派に脱いだ感じとなって通用するというから、ストリップファンはゴマ化されることなく見ることが必要。

なにげなくタバコをもつた手だが、こんなポーズも美しさと、その役柄を表現するものだ。「女体標本」の扇町京子。

セクシー女優
手の美学

★ 割りのあわない手

これまでセクシー女優の美学を乳房、ヒップ、唇、脚、エクスタシー、シャワーに分けて連載してきたが、今回は〃手の美学〃にふれてみよう。映画をみていると、とかく顔の方に気をとられ、そしてヌードやベットシーンともなると乳房、ヒップ、みえそうでみえないデルタ地帯の方に視線が集中されてしまう。

だから一番割りのあわないのは手の方で、一番主要な役目を果しているのになぜか忘れ去られてしまっている。

われわれはもっと女性の手の表情を見直す必要がある。

物をいうとき、女性の手があれこれ躍動し、豊かな表現をするかどうかで、その人の性格がわかるものだ。

手が美しく、たえず動く女性ほど、ベッドも楽しからずやで、あなたが恋人を選ぶならまず手がさまざまに動く相

▲やさしく男の後頭部にそっと…セックスを求めて燃えることを期待する手…「未亡人日記」の城山路子。

▲ピンク女優演技派No1の[illegible]女のもだえを[illegible]手の中で、デリケートに表現させている「[illegible]の女」から

▶期待と不安、性への恐れの手の表情である「婚前交渉」の志摩みはる

手を選ぶことだ。

★エクスタシーの導火線

あなたとのベッド・シーンではその白魚のような伸びたしなやかな手が、背中に回りエクスタシーと共に肩に胸に、髪に這い回るだろう。

しかし、最近は女性が、爪を長くしているので、よほど気をつけないとみみず張れになることもある。女の爪あとなどはあとでカオを赤くしたければならないこともあるから要注意である。さて、映画の中で女の手の美しさがもっとも強調されるのはやはりベッドシーンでの瞬間であろう。男優とキスをしていても女優の手がみえないことにはせっかくのラブシーンも台なしであろう。

俗に口八丁、手八丁ーとは手の早さ、行動範囲のひろさ、仕事や女の子に対して手腕や力量を表現したことだがさらに〃あいつ手が早いから

▶男の厚い胸におかれた淳子の手。胸から下へ伸びるのか、それとも首にか……二匹の野犬か。

▼ヒューーンと伸びた池内淳子抱擁の腕のそれが丸く曲つて池部良の首に巻きつく。愛と性のキャッチをたくみに表現させている「けものみち」から。

▲ピンク女優のなかで、演技派といわれる可能かず子は、この演技もなかなか。「禁じられた肌」でのベッド、シーンは男の欲望をソフトな手で期待する手つきだ。

なあ〃というのは、女の子に早く手をつける素早さ、これはあたかも座頭市の居合抜きにも似たぬき身の早さをいうことにもなろう。

★ 悶えるときの美しさ

さて女優の手が美しくみえるときは、やはり男の肩や、頭に手がゆき、悶える手の動きが一番美しくみえるものだ。手は総てを表現し、そのひろがり方、握り方一つでもその人の感情と肉体状況を示すものである。

こう考えてみると、女の手一つをクローズアップしたときに、それが実にセクシーに受けとれるか、それとも醜く感じるか、まさに大切なポイントということになる。

そうたると女の手は「愛」であり「暖かさ」ともなり、「怒り」でもあり「悲しみ」でもあることを端的に表現するわけだ。食べるため、働くため……生きて行くための手

◀ことし五つの女優主演賞をとつたキャリア十分の若尾文子の手。美しさと女らしさで、手の動きは抜群「[illegible]めくら物語」から。

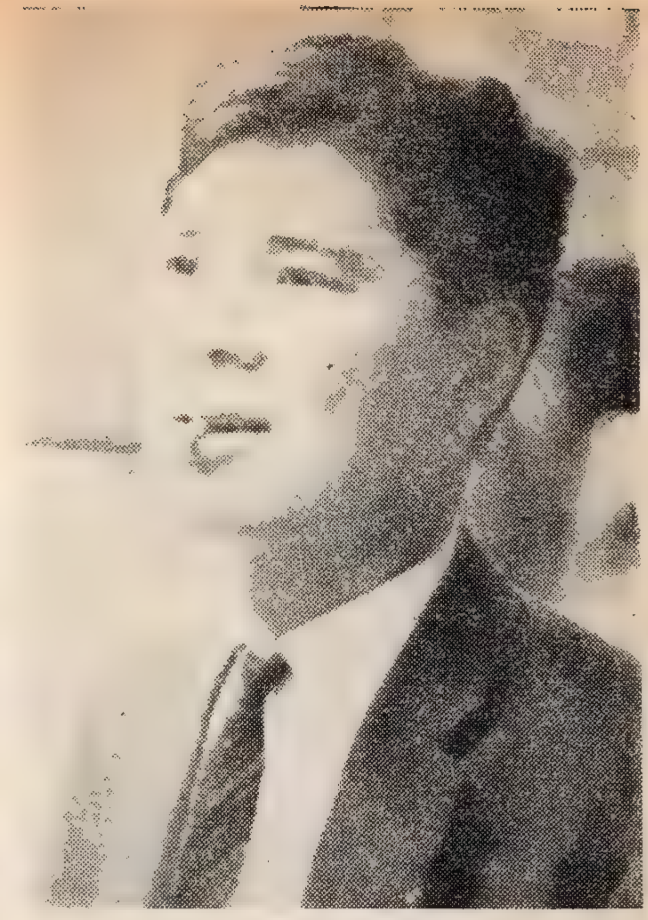
▼悲しみよりも絶望のあとの放心の手…「娼婦しの」の三田佳子

◀ベツト・シーンで、お互いの手を組み合せた手の演技は珍らしい。増村保造監督のユニークな演出といえる。「不倫」の江波杏子。

そのものだが、その中からセクシーな手の魅力を女優の中から拾えあげてみるとき、実に興味深いわけである。
　これほど手が映画の中で主要な映像表現の素材となっているのに、日本の監督は演出の仕方が下手である。
　もっと手の感情を美しく、感動的にとらえてゆくべきである。」

ザックバラン座談会

出席各紙芸能担当記者



▲ただ一人気をはく若松監督

□色あせたピンク映画

A　あまりきれいごとじゃあなくて、ピンク映画、成人映画界のこれまで書かれなかった裏話を主体にして喋ろうじゃないか。

D　賛成だ、いいたいことがウンとあるから、歯に衣を着せないで、ストレートにザックバランにいおうよ。

A　きよ年はピンク映画の成人指定映画は二百三十六本邦画の約半分を作っている。

ことしは三カ月で五十三本昨年の暮れの三カ月に作られた約半数だから、かなり減少した。そろそろエロダクションも整理期に入ったというわけだ。

D　あるプロの重役は、どんどん潰れてくれればいいそして自然とうたされて力のあるところだけが生きのこる、それから再出発だといっている。

力のあるというのは金のあることだろう。

C　しかしガックリきたときには完全にお客がソッポを向いていて朝丘雪路の歌じゃないが〃ふりむいてもくれない〃ということになる。一度去った恋人が、再びよりをもどして帰ってくるなんて考えられないし、甘いよ。それはいい気なもんだ。

D　いまこそピンクプロの再建とカンフル注射をやるべきときなんだよ。

B　それと、もう少しお金をかけて企画を練るべきだよ

E　しかしピンク映画の将来性というのはどうなんだ。

A　ボクは絶対になくならないと思うね。映画に情熱をもっている若い連中が、どんどん出てきている。しかも五社のマンネリ作品にあきあきしている人が既成概念と権力を打破しようとしている。こうした独立プロは絶えることはない。

□ただ一人張切る若松

D　若松監督は「憂国」が芸術だとかで受けているそうだがあれはエロとグロだ、かりにボクがあれを作ったらさんざんな悪評だったろうなんていってたがね。

A　若松といえば、彼はいま一番張りきっている。一カ月半に一本はコンスタントに

作っている。それも自分でスポンサーを見つけてだ。

B　五社には監督が多いがたとえ三百万円でも金を作って、映画を作る監督がいるかどうかだ。

A　勅使河原宏監督もいっていたけど〃これからの映画は有力なパトロンを見つけて、動かして行くのが独立プロのあり方になるんじゃないか〃といっていたけどね。

□ 転向する？　内田高子

D　では、こんどはピンクな方に話題をかえよう。きよ年二十七本も出演した内田高子はどうしてんだね。

A　国映の「悪徳」に出ている。尼さんの役だ。

B　尼さんってガラじゃないね。好色尼僧物語ってところだよ。

A　作るお話もそんなところだろう。

E　内田はテイチクレコードから「女が瓜をきる時」を七月に発売するね。ピンク女優が歌うとき……って奴だ。

D　もともと彼女はネグリジエ歌手だったんだから、本職にかえったわけさ。

E　B判の方が「今は二人だけ」というのだが、歌詞もだって淋しい離れちゃいや熱い接吻もう一つして欲しいーなんて甘いものだよ。

A　作曲が彼女のところの岡雅美氏だが、案外ムードのあるいい歌だよ。

B　なんでも内田はピンク女優をやめて、歌と、テレビ五社作品で……といっているがうまく行くかね。

D　幅のある女優だから、やれるだろうが、きびしいよこれからが……。

□ グラマー目指す新高恵子

C　新高恵子とこの前、会ったら、ことしは是非泳ぎを覚えたいといっていたよ。

「憂国」の一シーン

A　そんならボクが教授するよ。水着のグラマー女優を手をとり足とり、ウヘヘヘ。

E　キミはすぐそんなことしか考えないね

B　しかし新高は歌も歌えるし、演技もいい、体に似合わず、可愛いい甘ったるい声を出す女だね。

D　こまどり姉妹じゃないが、ファンに刺されたが、あれはファンレターに返事を出さなかったからだ。その点新高はどんなファンレターにも返事を書くといっている。ファンあっての女優ですもの……といってね。真面目に批評してくれる人、デラックスな贈り物とさまざまくるそうだが、変なのもくるそうだよ。読んでいて顔が赤くなるのもくるのよ…といっていたがそんな人には逆に真面目な返事をあげると二、回目からは、とてもまともになって、いいファンになってくれるといっていた。

D　こまどり姉妹も見習うべきだよな。

□砂で困った北御門杏子

A　国映の「続・情事の履歴書」がヒットしたそうだが主役の北御門杏子ね。なかなかいい子らしいね。

E　鳥取の砂丘ロケでは全裸で砂丘を走り、転げて大変だったらしい。

D　なんでも大切なところも砂だらけ、困ったそうじゃないか。

C　スタッフの話だと、ボクは男でよかったといっていたから、砂で泣かされたのは本当だね。

A　彼女は萩窪の団地に住んでいるけど、父親がサラリーマン。あちらこちらでヌードになるものだから、それが新聞や週刊誌に紹介される。父たるもの面くらうのは当然だと思うね。〃父が映画の仕事をやめて、花嫁修業しなさいっていうのよ…〃と彼女がいっていたがね。

E　しばらく映画界から遠ざかって、ほとぼりさますといっていたね。しかし残念だよ。彼女のあのオッパイは素晴しいよ。

A　体は小さいんだが、オッパイだけはリッパだね。バーンとしてて、一メートルはあるんじゃないか。

◀歌手転向の噂も高い
内田高子

▶京おんなの魅力
たっぷりの加山恵子

E　彼女自身はひどく大きいことに劣等感を抱いてるんだよ。

B　注射して大きくするのもいるっていうのになあ。

D　女優のオッパイの美学ってのは本誌でもやってたからこのくらいにして、ボクが最近感心させられた話をきいてくれよ。

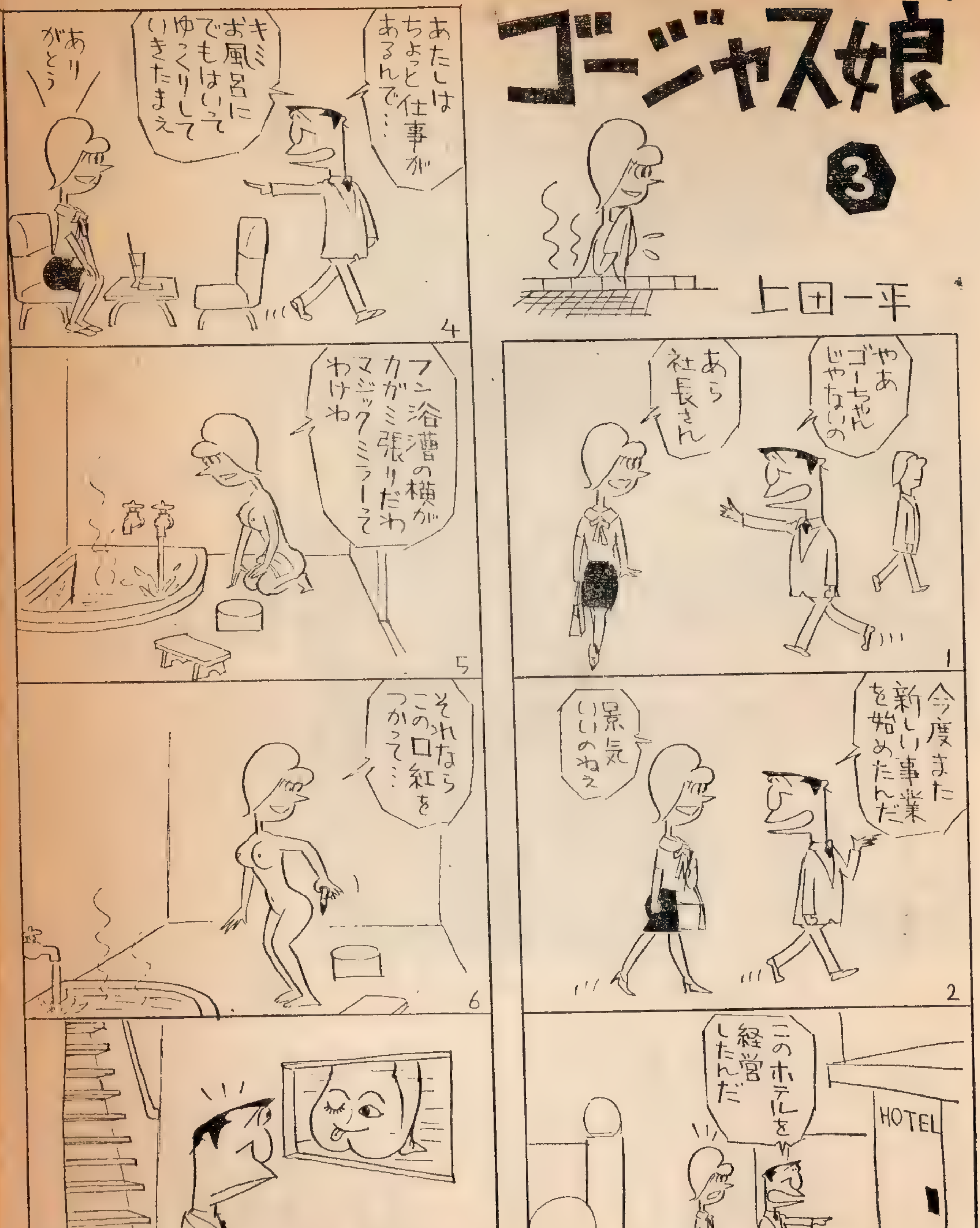
C　またベット・シーンかハダカのことだろう。

D　それもそうだが、この前、若松監督の「引き裂かれた情事」の撮影をつき合ったけど、主役の加山恵子には感心したよ。ベットシーンを特写したんだけども、撮り終えたら、ベッドの上に正座して〃どうもありがとうございました〃とペコリあたまを下げるんだよ。物腰もやわらかくて、京都の女とはいえ、いまどき珍らしい律義な女優なんだな、これが……。

A　Dさんは京おんなに弱いからな、おいでやす、おおきに……なんていう京都弁きいたらコロリ参るんだよ。

D　強いとはいえんね。それと、多摩川の堤でやったのが、大変なシーンだったね。彼女が全裸になって、パンテイをかかげてくるんだが、まあ、あそこまで割り切ってやれる女優も珍らしい。

C　ではこの辺で、ありがとうございました。



ゴージャス娘 ③
上田一平
やあ ゴーちゃん じゃないの
あら 社長さん
今度また 新しい事業を始めたんだ
景気いいのねえ
このホテルを経営したんだ
HOTEL
あたしは ちょっと仕事が あるんで……
キミ お風呂に でもはいって ゆっくりして いきたまえ
ありがとう
フン浴漕の横が カガミ張りだわ マジックミラーって わけね
それなら この口紅を つかって……

ピンク映画 みたまま

佐藤重臣

▲「女の玩具」

★今月、会った人のなかで、やはりおもしろかったのは今村昌平監督、ちょうど、野坂昭如の「エロ事師」の出版記念パーティの帰り道、銀座のバアをハシゴしたのですが、胆石の手術をして、一週間ばかり前に退院したイマヘイ監督、「おそるおそる酒を呑んでんですよ」と云いながら、実際には、ウイスキーをガブ呑み。

「この頃の若いひとたちはセックスをやるのに不マジメです。笑いながら、やっている」と例によって例のご託宣。最近、団地マダムが乱交パーティをやっているという話になると「その実態を知りたいですねえ」とおっしゃっていました。

★ピンク映画もこのところ低調、大体において、お話が乱暴すぎますねえ。

「女のおしゃぶり」という映画に女性が痴漢になってマンハントしながら、車のなかや映画館のなかで、男性に対し、逆にイタズラをする話。

男性のアソコを女性につままれて、アタフタするあたりは、もっともっと徹底してユーモラスにしてもいいと思ったし、後半、男性側が復讐するくだりが、何んともなって

▲「エロ事師」で演技をつける今村監督（左）
右は小沢昭一と坂本スミ子

▼「新妻のあやまち」での内田高子

おりません。やはり百五十万ぐらいの映画でも筋ぐらいはキチンとやって頂かにゃあ。

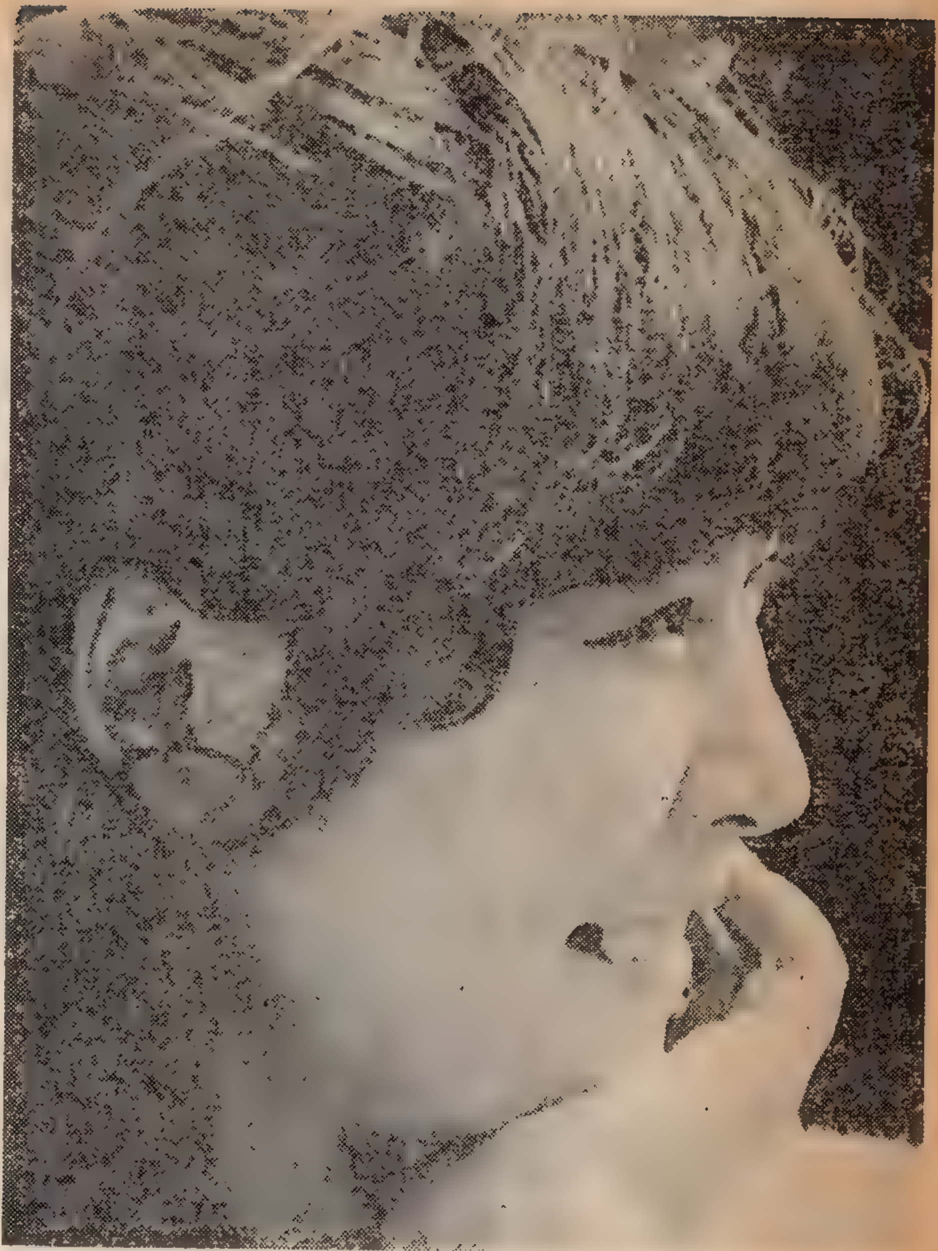
★内田高子主演の「新妻のあやまち」は、結婚して半年の男が、妻の不感症にいらだって社長夫人と毎週火旺日、関係を結んでいる。

　ところが実際には社長の方もすれ違いに、その男の新妻のところえ出かけて行って鞭でビシビシなぐったり同性愛を強要したり、8ミリカメラに収めたり、散々のアブ行為をやっているという設定。新妻がセックスのほんとの味を知らないうちに先にアブな味を覚えてしまうという設定に割と頂けると思った。

★藤川亜紀の「情死」は不良女学生と流行作家が温泉の風呂場で無理心中してしまう。しかし、真相は新聞にのったような心中ではなく不良女学生は純情な女学生であって、女タラシの流行作家に毒入りウィスキーを呑まして復讐したというワケ、湯川美沙が改名して藤川亜紀となりセーラー服で大奮斗。女性が犯されそうになると画面がパート・カラーになったり工夫はいろいろしているが、湯川美沙ではセーラー服の役は無理な感じ。

　しかし、エロ写真でセーラー服を着させて感じを出すように、この種のものは服装にも大いに気を使ってほしいもの。下着とかコルセット構造ひとつで、エロチシズムの度合がグッと変ってくるというものだ〈65点〉

★。藤川亜紀、谷口朱里、葵まゆみのエロダクの若手陣を並べた「軟派」は、女タラシのブローカーと海辺の松林で青カンするところが若干の見どころといった工合で、ストーリーは相い変らず知恵がない。もう少し、皆サン、映画を作る前にオハナシだけは練って欲しいものだ〈65点〉



● クローズ　アップ ●

期待される水木リエさん

★きいたことのない名前も道理近く公開される「危険な同棲」（青年群像製作、明光セレクト配給）でデビューする新人だからだ。

おおらかで、現代っ子らしいフレッシュさがある。瞳の輝き、ふっくらとしたほほ、無雑作な髪、十八才の奔放さが感じられる。「危険な同棲」の大井プロデューサーが発見して、起用したものだが、非行的なグループで遊んでいたという前歴の持主。あってみたらすごく純心なものをもっていて、内面的には汚れていない美しさがある――というので、大井プロデューサが心ひかれて抜てきした。つまり新しいなにかがひき出せるかも知れないとゾッコン惚れたわけだ。

★しかし彼女がいうことには撮影の開始の時間まで起きられる自信がない、途中でいやになって逃げてしまうかも知れない……」などと勝手なことをいって、不安がらせた。

よくきいてみると家庭の真の愛情に恵まれていないことや、心から相談相手になってくれる人がいないことがわかり、それでは仕事を通じて生活と愛情のあたたかさを教えようとスタッフ全員が手をさしのべたのだった。

★映画は下町の工員と彼女が小さな幸わせを求めて努力するが、社会のあらゆる歯車の中に、まきこまれて、ささやかな幸わせが消えてしまうというきわめて今日的なテーマを扱ったもの。

彼女は高校を中退し、一時バーに勤めたこともあるといい、家庭は中流のサラリーマン。七日間の撮影期間中仕事を通じての男女の愛情のあり方を知ったということだ。

みせ場だったベッドシーンもはじめてにしては上々の演技を示し、評判もいい。育て方によっては伸びる可能性のある新人だという。

プロダクション・ニュース

谷口朱理

若松プロでは「裏切りの季節」を若松孝二、大和屋竺の二人の監督でクランク・インベトナムに行った報道カメラマンを通して、現代の日本と複雑な人間関係を描く異色作。主演は谷口朱里。

★

大島渚監督が「白昼の通り魔」（創造社製作・松竹配給）を撮影中。

村の青年に犯されて二回も心中を図って生き残り、逞しく生きる女の生と死の対決と通り魔をめぐる二人の女の姿を描くもの。

主役のシノ役には二カ月がかりで、やっと川口小枝が決定した。七月一週公開の予定。成人映画指定の内容。セックスシーンが話題になりそう。

★

渋谷のテアトルSSでは、5月10日にピンク映画直営館となった。渋谷地域では初めてのピンク映画専門館とあって人気上昇中。

★

東京興映が7月に配給する小森プロ「黒いものを見た」（監督小森白）は鋭意クランク中。

★

大蔵映画は7月2週にOPチェーンで恒例のお化け映画大会を上映する。上映作品は全作品邦画でゆくことになり先きに大蔵映画が配給した「逆吊幽霊・死棺破り」など再編集する計画である。

★

センチュリー映画配給は第三作目として「肉欲」（監督藤田潤八、主演岡本弘子）をこのほどアップし六月一週に封切る。次回作は「続・夜這い虫」を六月上旬にクランク開始を予定している。

★

「KKプロダクション鷲」（代表平田孝監督南部泰三）が発足した。企画作品は「愛憎の肌」「毒花」「炎情」「暴漢」「噴火口の女」なお事務所は東京都新宿区左門町一〇
電話（三五三）一五七三

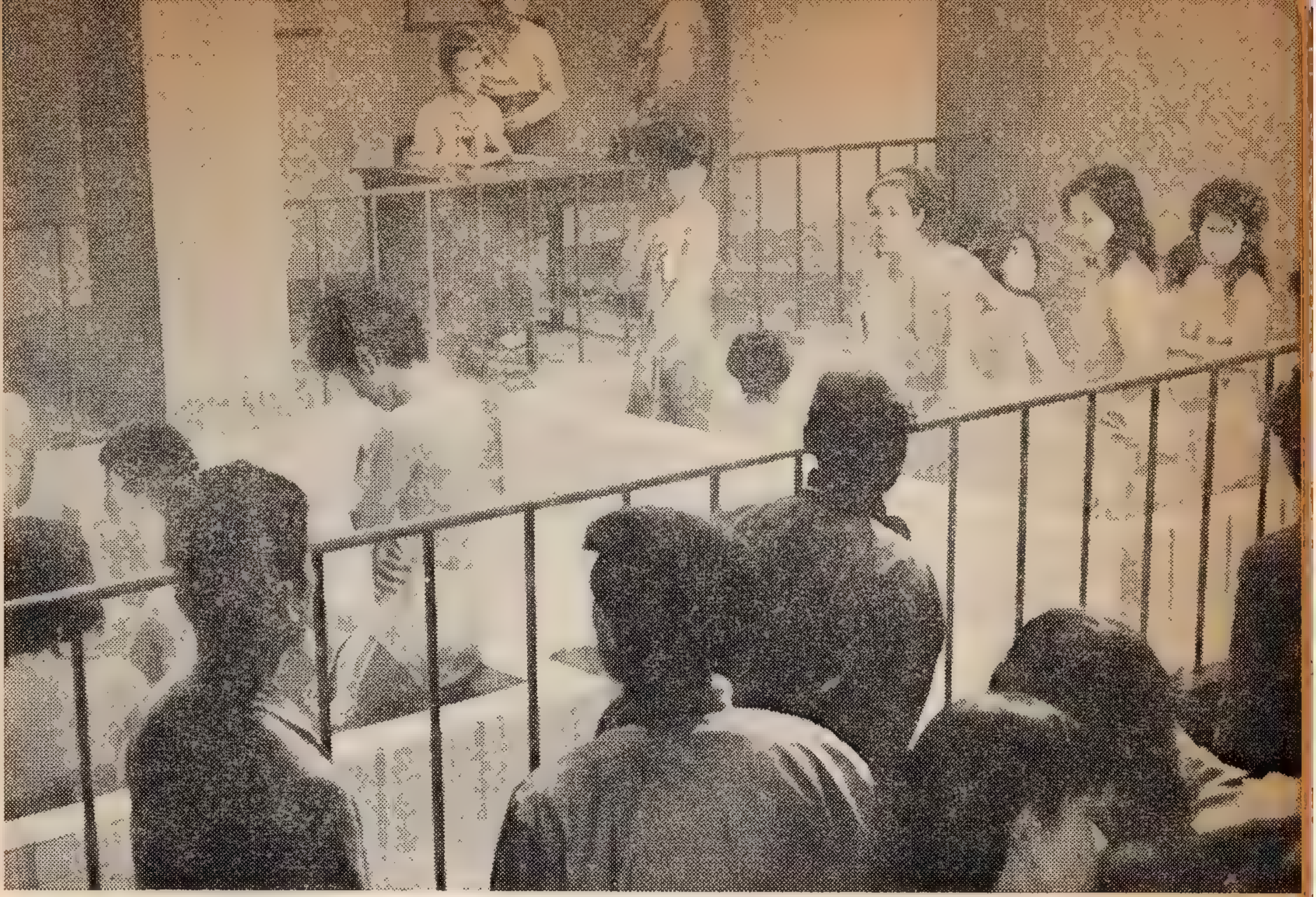
★

国映配給の「悪僧」（監督向井寛）は東芸プロ製作で千葉佐原でオールロケ。主演内田高子だが、この映画は久しぶりの男性ものなそう。

★

「セクシー女優クイズ」の第二回目の答えは**京マチ子**でした。抽選の結果、つぎの方々に賞品を郵送しました。

大島勝昭（埼玉）石井実（広島）臼田進（岡山）米沢実（徳島）佐藤真（東京）鈴木正男（神奈川）平賀由治（栃木）指田光（東京）畑中勝雄（神奈川）深味富政（東京）



東映「おんな番外地」一人7000円ナリのエキストラを使っての女囚入浴シーン。

アーッ！ビクリしたな、もう！

二つの入浴シーン

東映と若松プロの作品で、期せずして、刑務所内での女囚の入浴シーンが撮影された。片やパンテイ着用、片や全裸スタイルでの撮影風景だったが、いかにも五社とピンク映画の相違をまざまざとみせた撮影ぶりであった。

★エキストラ七千円

東映は緑魔子主演の「おんな番外地」での入浴シーン。この撮影で、東映ではスポーツ芸能紙に「七千円の日当で裸に近いスタイルで入浴シーンのエキストラを募集します」という記事をのせた。

東映では、応募してもせいぜい十人がいいところだろうとタカをくくっていたところ撮影所の宣伝課に朝から女性の電話がかかってきた。

「一日といっても何時から何時までですか」「七千円ホントにくれるんですか」、年令は」といった問い合わせがジャンジャン申込みは約百人近

若松プロ「引き裂かれた情事」では銭湯を借り、オールヌードで女囚の入浴シーンを撮る。右が加山恵子。

く。その中から選考して結局20人を採用したが、困ったのは当日になって「急にアンネになっちやつたので、出られなくなりました」「やっぱり恥かしいので止めます」というのもあって、急きよ、補欠を入れて、撮影を開始した。

ほとんどが一日七千円ナリのギャラの魅力にひかれて…というのが本音。スタジオ内に作られたフロ場にお湯を入れ、ブラジャーなし、パンテイだけ着用という条件で、カメラの前で体を洗ってもらったり、それらしいフンイキの演技をやってもらった。

ほとんどがナイロンパンテイで、色とりどり、ブラジャーをとるのはカンベンして…と急に恥かしくなって、オロオロするのもいたが、四時間近くかかって、このシーンを撮り終えた。あるエキストラ嬢は「ホントいって七千円がほしかったからです。やっぱり照れちゃって……」「またこんなお仕事あったらぜひ出たいわ」と味をしめたのもいた。並いるスタッフは「おかげでいい目の保養になりました」

★全裸であっさりと

一方の若松プロの方は「引き裂かれた情事」の女囚の入浴シーン。この方はセットなしだから、渋谷のさる銭湯を半日だけ借りて、ロケ撮影。主演の加山恵子ら四人の女優が、一糸まとわず、ザンブと入ってああいい気持よ　とケラケラ。

監督らがブラジャーもパンテイもとるんだぞオなどと注文をつけるまでもなく、五人の女優は脱衣カゴに衣服を脱いで、タオル一枚で前を隠して入浴し、大いにセクシーなところをやってのけて「お疲れさまあ」となったのだったもちろん七千円どころか、それはギヤラのうち…というわけだ。

● 外国のハナシ

万引事件のヘディ・ラマー

「春の調べ」でのヘデイ・ラマー

★去る一月二十七日の夕方のことだ。ロスアンゼルスにあるメイ、デパートの保安係は、かなりいいなりをした中年の女性が、買いもの袋の中にかなりの数の小間ものをかくし駐車場にとまっていた自家用車に乗って逃げようとしているところをつかまえ、ロス署の婦人警官に、引き渡した。この万引現行犯がヘデイ・ラマー(51)であった。

★オーストリアのウィーン生れのラマーはチエコ映画「春の調べ」で全裸のヌードになり、その後ハリウッドに渡って「サムソンとデリラ」などに主演、グラマーの女王などといわれた。最近はあまり映画にも出なかったが、依然としてハリウッドでは名士であり、よくパーテイなどに顔を見せ、妖艶さはちっともおとろえていなかったという。

★ラマーは起訴された。盗んだ品物はヘア・ピン、既成品のごくありきたりのワンピースなど十数点、しかし、金額にするとたったの八十六ドル（約三万円）にすぎなかった。逮捕された時、彼女はハンドバックの中に二千ドルのお金を持っていたという。なぜ、そんな大金を持っていたのにヘアピンなどを盗まねばならなかったのか。「私は、彼女が本気で万引をしたとはどうしても考えられない」とラマーを調べた婦人警官もいっている。

★ガク然としたのはハリウッドの女優たちである万引現行犯といういまわしい罪状で留置されている落ち目のグラマーに、自分たちの末路を見る思いだったからである。

男七人、女五人の陪審員たちがじっと見守る中で公判が開かれた。検事は三人の目撃者を呼び、被告席のラマーを有罪と断じた。

★その日、プロデューサーのバート・ゴードンは近く撮影予定の「母の肖像」に主演するハズだったラマーをおろし、代ってザ・ザ・カボールを起用すると公表した。彼女はかくて映画界からホサれたのであった。

★公判二日目、ジョーダン・M・ウォーク弁護士は、ラマーの長男トニー・ロダー(19)とカリフォルニア大学精神病科のヘンリー・ハミルトン博士を証人として呼んだ。そしてトニーは、母が「次第におとろえてゆく美しさをなんとか保持しようと、さまざまな薬をのみ、一日中、化粧鏡の前にすわりつづけていた」ことハミルトン博士は「彼女は歴然たる精神異常者であり、最近はひどいノイローゼになっている」ことを証言した。

★五時間の討議の末、十二人の陪審員たちは「無罪」を評決した。その間ヘディは、ひかえ室で、子守唄を口ずさんでいたという。かくて、ラマーを映画にうけ入れる席はなかった。

（鈴木和夫）

●日本のオハナシ

小沢エロ事師、こんどはエロ学生に……

◆かぶりつきでヌードダンサーを見る小沢昭一?

「人類学入門・エロ事師たち」で大奮闘した小沢昭一が、こんどはぐっと若返って、エロ学生に扮して大ハリキリ。というのは東映京都「[illegible]」(監督渡辺祐介)で、京都の寺院の息子だが、坊主を嫌って、予備校の十年選手、教科書がわりにエロ本をたずさえて通学するというその道のベテラン。この映画は若い人たちのセックスを正面から描くものだが、「学生服を着られるので飛んできました」という小沢。そんなカレが、ストリップ見物に出かけるシーンを京都市内にあるSミュージックホールを、早朝から借り切ってロケ撮影した。

「朝からヌードショウ見物なんてオヤジン、かぶりつきというのは初日の劇場とヌード嬢をひやかすタイミングがコツですよ」とエロ事師先生を一席。本場のストリッパーを相手にエロ学生ぶりを発揮したものだ。

☆「内田高子」友の会への誘い

あなたも高ちゃんの友の会へお入り下さい。今日からあなたは彼女のよき友だちです。「おおばこ友の会」会員にはいろいろな特典を用意してあります。

☆集会・ショー・春秋バス旅行・ロケ見学スチール写真配布プロマイド贈呈。特別試写会招待・映画衣装小道具贈呈等

☆ご入会になるには下記申込用紙に入会金四百円と会費をそえて、東京都品川区南品川二ー八 内田高子「おおばこ友の会」までお送り下さい。

内田高子「おおばこ」友の会
入会申込書

氏名	性別 （ 才）	
住所		
職業		
会費	入会金	(〒共) ¥400
	3カ月分前納	(〒共) ¥600

肉体の会話（OPチェーン上映中）

愛のうめき 肉体の悩み

理性に打ち勝てなかった

女の性の悲しさ!!

監督／久我 光 主演／山仲溪子 特別出演／新高恵子／松井康子

製作／鷲尾飛天丸 日本シネマKK作品

山仲溪子

扇町・高田（新人）が大胆に脱ぐ
「欲望の異常者」（大蔵）クランク

▲小川監督（左）の指導をうける高田浩代

大蔵映画製作、配給の「**欲望の異常者**」（監督小川欽也）が扇町京子、高田浩代、九重京司、里見孝二らの出演で撮影中。大蔵貢社長が珍らしく自から陣頭指揮をとり、箱根・強羅の大蔵山荘をロケセットに使ったり、大蔵氏の自宅まで使ったりとフル回転。なにしろデラックスな自宅と山荘なので、スタッフのめんめんに、やっぱり凄い構えだねえーと感嘆しきり。

扇町京子はこんども全裸シーンやら、ベッドシーンでハッスルしているが「低調のピンク映画界にカンフル的なセクシー演技をみせたい。さきに監督〈やくざ芸者〉もやりましたが、いい勉強になりました。小川さんの求めているものがおかげでよくわかりますわ」と一段と色っぽい演技をみせている。この作品でデビューするのが、高田浩代でフレッシュな魅力があると評判。扇町と高田のセクシーな魅力をどうスクリーンに表現するか、小川監督のパンチのある演出が望まれるところ。

▲扇町京子

可能かづ子のピンアップ

■バックナンバーをご希望の方は今がチャンスです お早めにお申込み下さい！

★お申し込みは左記のとおりです。

東京都中央区銀座東六の四　村木ビル五階　現代工房「成人映画」編集部　定価は一部各百円、送料一部十円。

★**創刊七月号**　セクシー女優勤務評定、女優内田高子、アーシュラ・アンドレスのヌードフォート、カラーピンアップ緑魔子。

★**八・九月合併号**　特集悦楽のすべて、加賀まりこプロフィール集、セクシー女優乳房の美学、女優野川由美子、カラーピンアップ可能かづ子。

★**十月号**　女優新高恵子のセクシーポーズ、諸作家のピンク映画観を斬る、ボクのシネ散歩やなせたかし、カラー・ピンアップ桂奈美。

★**十一・十二月合併号**　女優監督扇町京子、ピンク・ロケ見損うの記野末陳平、カラーピンアップ内田高子。

★**新年号**　65年ピンクリボン賞は誰の手に座談会、ピンク映画みたまま佐藤重臣、女優谷口朱里、カラーピンアップ路加奈子。

★**二月号**　成人映画ロケルポルタージュ、ヒップの美学、ピンク女優が寝るときアンケート特集、ピンアップ志摩みはる。

★**三月号**　ミスター陳のピンク女優寸描、ズバリ発言、マンガ上田一平、くちびるの美学、素顔の女優たち川島信子ピンアップ新高恵子、女優佐川啓子。

★**No8号**ロケルポ「続情事の履歴書」、女優北御門杏子、ピンアップ泉ゆり、表紙新高恵子のアミタイツ、内田高子の休日、クローズアップ香取環。

桂　奈美のピンアップ

読者のページ

セクシーな新高恵子

「セクシー女優クイズ」の賞品が、貴誌の特写によるグラマー女優のピンク・ムード写真なそうですが、ぜひ欲しくて当選したいものです。ついではどんな女優作品が一度この欄で紹介して下さい。（東京・長谷川二郎）

★本誌表紙のセクシー・ムード作品は次第に紹介します。（編集部）

★前号の「高ちゃんの休日」で、内田高子のプライベートな紹介記事おもしろく読みました。売れっ子の彼女が、戯画の愛用者ときいて、一そう彼女に親しみを感じました。これからも女優さんのこうした私生活の一面を紹介して下さい。（川崎・加藤秋男）

★上田一平氏のゴージャス娘のマンガは大変おもしろく、適当なお色気も盛って楽しみにしています。マンガのページをふやしてほしい。（大阪・太田忠彦）

★映画評として佐藤重臣氏の「ピンク映画みたまま」は軽いタッチで、大いに参考にしています。ピンク映画ばかりではなく、成人映画の邦、洋画の映画評を歯に衣を着せないでズバリのせてほしいものです。「野沢開朗氏のものなどいかがでしょうか。（東京・沼田正夫）

★ O. Pチエーン 6.7月番組

5/31—6/6	青い体臭（大蔵映画） 危険な同棲（明光セレクト）	21—27	愚かな抱擁（大蔵映画） 汚辱の女（大蔵映画）	12—18	売笑婦（大蔵映画） 女体銀行（日本シネマ）
7—13	女の奥底（関東映配） 女が指を咬むとき（関東ムービー）	28—7/4	欲望の異常者（大蔵映画） 色だおれ（関東ムービー）	19—24	狂った快楽（明光セレクト） 未定
14—20	女高生地帯（大蔵映画） 肉体の会話（日本シネマ）	5—11	大蔵映画 お化け大会 怪談異人幽霊 逆吊幽霊・死棺破り		

編集後記

★不況ムードが幸いしてといってはおかしいがとにかく今年のゴールデンウイークは昨年までのように車をつらねて遠方へ行楽の旅というのが少くなった。
お蔭で興行街はせめて映画ぐらいという人々で大にぎわい。成人向け映画もご多分にもれずお客さんを吸収。かくて本誌も売れ行き順調——？ という三題噺のような昨今のニュースだ

★表紙は「続・情事の履歴書」に主演した北御門杏子さんにお願いしました。ピンク系ではめずらしく新鮮なお色気の持主。ピンアップには「引き裂かれた情事」に主演した加山恵子さん。またクローズアップに水木リエさんと新人を紹介しました。これからもどしどし新人を紹介しピンク映画界に新風を送ってゆきたいと思います。（K）

★やっと本誌も九号目にこぎつけたが映画館だけの発売だから映画興行の成績に左右されて、苦るしい現実である。一つの犠牲の中で本誌が成人映画の製作と興行面の上昇に努力しているつもりだ。地方座館でのご協力を切にお願いしたい。初夏を迎えて、特写ヌードなどにユニークさと大胆さを盛り込んでゆきたいのも課題にしている（X）

●「成人映画」 通巻第9号 昭和41年6月1日発行 定価100円 編集兼発行人川島のぶ子 発行所／東京都中央区銀座東6の4 村木ビル5階 現代工房 電話(541)3798

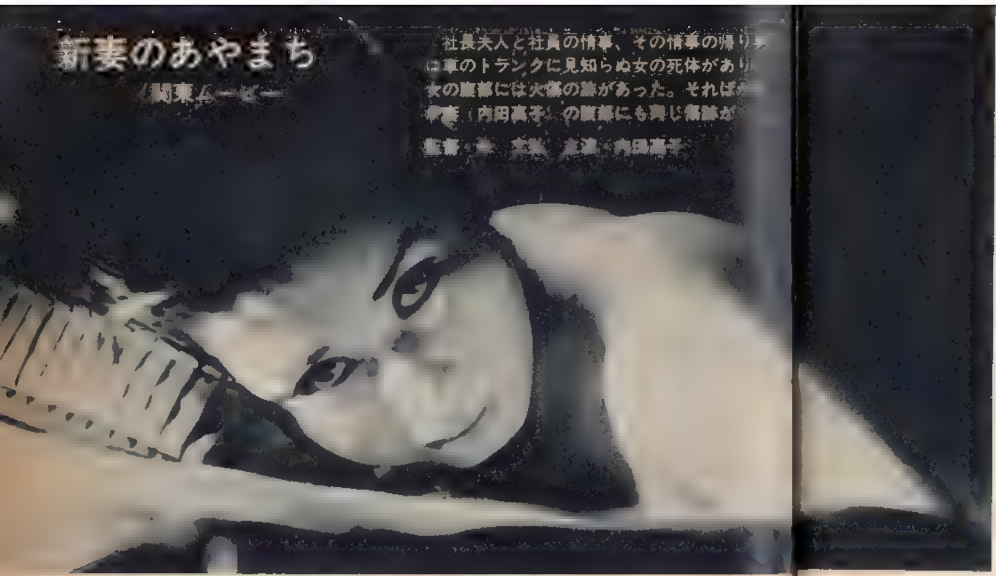
監督・経堂一郎　主演・内田高子
暴力で肉体を犯されたショックからすべての記憶を失ってしまった玲子（内田高子）は犯した男との間に不思議な愛情さえ育っていたが売春組織に利用され街娼にされてしまう

乳房日記
（関東ムービー）

★今月のスクリーン・エロチシズム★

誤って殺された由起（扇町京子）の遺体を夫（梅津二郎）は大学病院の医学研究材料とし売り渡してしまう。若く美しい由起が解剖されるまでの短かい生涯を描いている。
監督・木俣堯喬　主演・扇町京子

女体標本
（東京興映）



新妻のあやまち（関東ムービー）

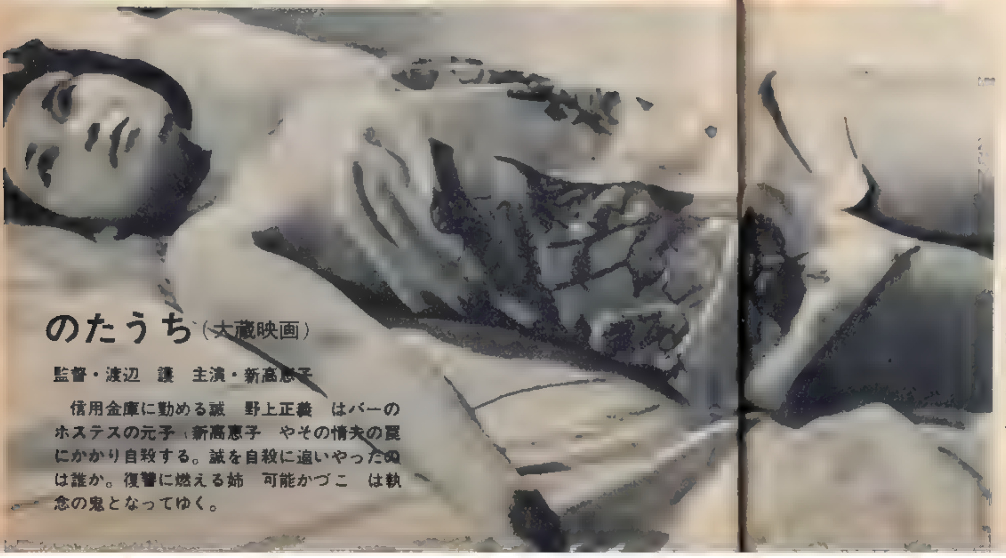
社長夫人と社員の情事、その情事の帰り道は車のトランクに見知らぬ女の死体があり、女の腹部には火傷の跡があった。それば[illegible]夫妻（内田高子）の腹部にも同じ傷跡が[illegible]

監督・[illegible] 主演・内田高子

女の奥（関東映配）

山奥の湖畔のホテルを背景に、外国航路の船長を夫に持つ美貌の人妻（美矢かおる）とその愛人、村の純朴な青年をめぐって愛と性に悩む若妻の女の奥底を描いたもの。

監督・高木丈夫　主演・美矢かおる



のたうち（大蔵映画）

監督・渡辺　護　主演・新高恵子

信用金庫に勤める誠（野上正義）はバーのホステスの元子（新高恵子）やその情夫の罠にかかり自殺する。誠を自殺に追いやったのは誰か。復讐に燃える姉（可能かづこ）は執念の鬼となってゆく。

危険な同棲（明光セレクト）

下町の工場で働いているみどりと隆（水木リエ・港雄一）は結婚を前提とした同棲生活をはじめるが、周囲の汚れた出来ごとに破壊されてしまう。二人の青春の純愛を描く。

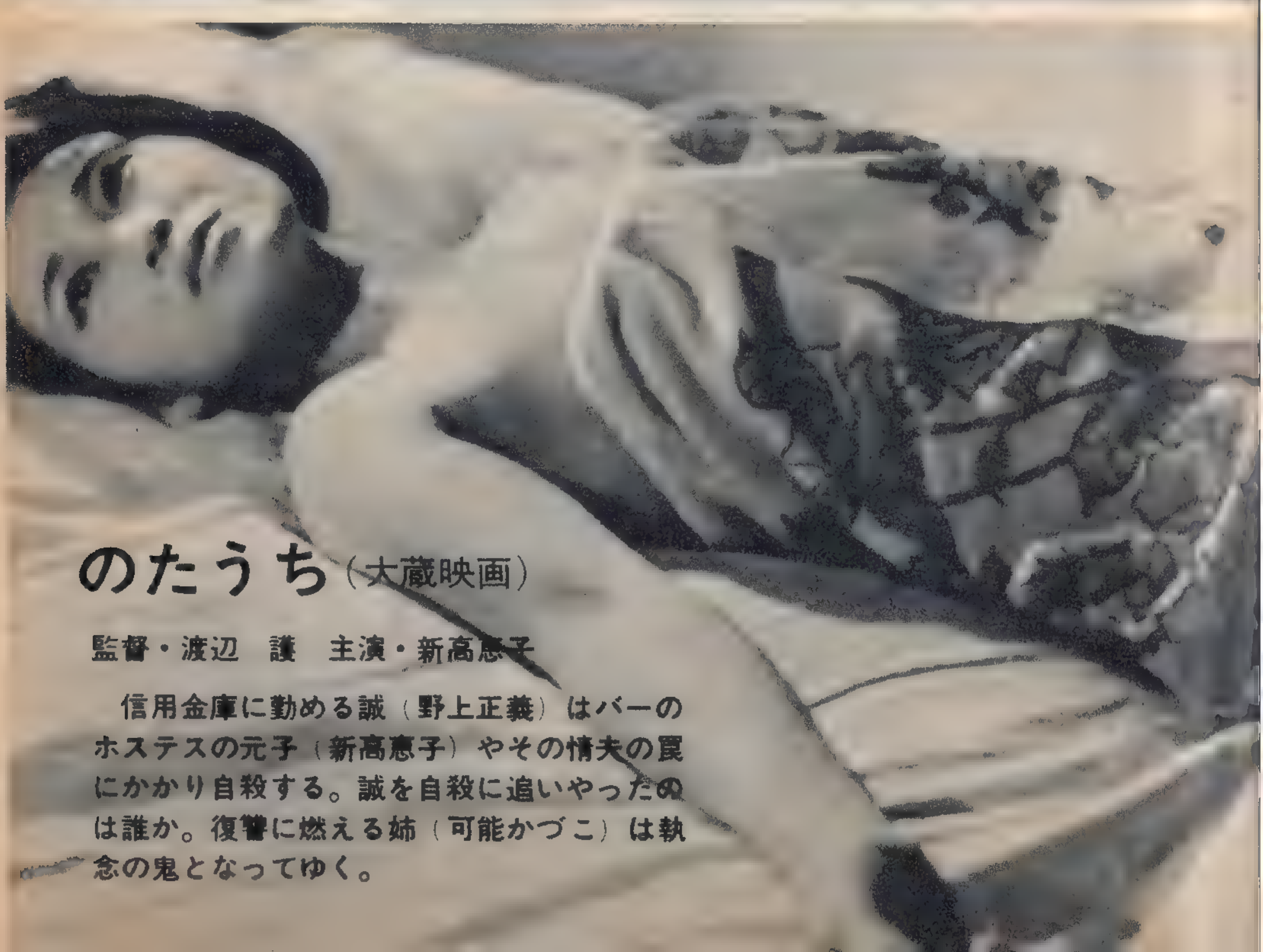
監督・中野弘也　主演・水木リエ

新妻のあやまち

（関東ムービー）

社長夫人と社員の情事、その情事の帰りは車のトランクに見知らぬ女の死体があり、女の腹部には火傷の跡があった。そればかりか妻（内田高子）の腹部にも同じ傷跡が

監督・糸　文弘　主演・内田高子



のたうち（大蔵映画）

監督・渡辺　護　主演・新高恵子

信用金庫に勤める誠（野上正義）はバーのホステスの元子（新高恵子）やその情夫の罠にかかり自殺する。誠を自殺に追いやったのは誰か。復讐に燃える姉（可能かづこ）は執念の鬼となってゆく。

青い体臭（大蔵映画）

…堂一郎　主演・左京未知子

…の四郎（巻映二）は温泉旅館の下働…働いているが、三人の女中や女主人…の若い体を狙われる。四郎の姉に清…女主人に左京未知子ほか峰あけみ、…らが出演。

燃える肌（葵映画）

監督・[illegible]・主演・谷口朱里

化粧セールスマンの飯田（里見孝二）は腕もいいが女にかけても相当なもの。五月（谷口朱里）バーのマダム（香取環）とつぎつぎと女の虚栄心を利用し肉体と金を得てゆく。

寝がえり（日本シネマ）

監督・福田清一　主演・谷口朱里

妻の光代（谷口朱里）にも見捨てられた新井は、刑事として犯人を捕えることに喜びを感じていたが、ある日万引女（菊村愛）を目撃したことから、物語は意外な方向へ発展していく。

悪僧（国映）

監督・向井　寛
主演・内田高子

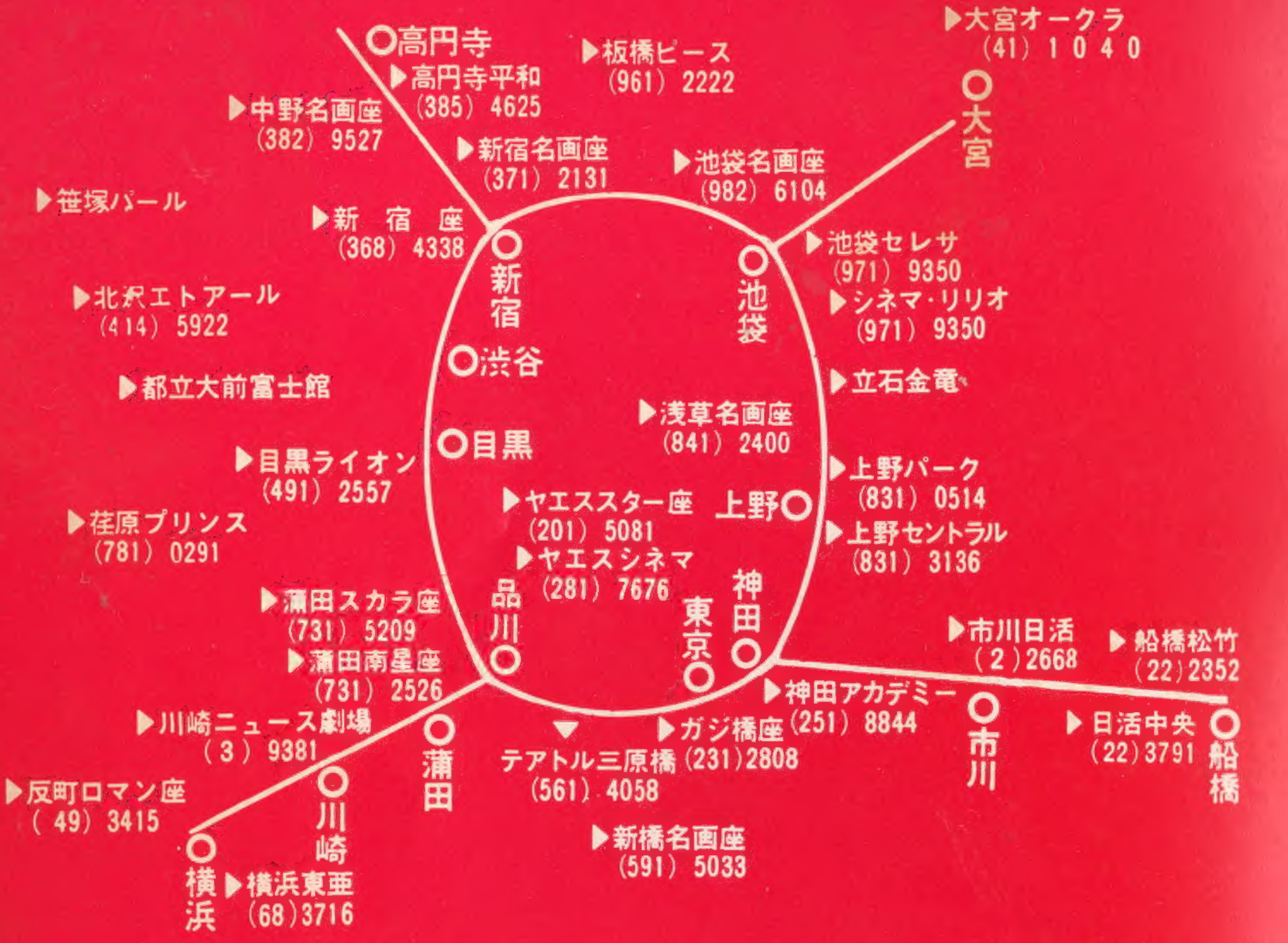
身も心もお慰めするのが、仏に仕える私のつとめです…とつぎつぎ女性にセックスの施しをする色即是空の破戒僧、やがて本当の愛を知り人を信ずる男（津崎公平）となってゆく。

監督・
十七
しに津恵
とち世瀬
きた水成

ちんまりオヒップ
ちんまりオッパイ
だけどなかなか
オイロケたっぷり
それが……
パメラ・ティフィンくん

♥彼女パメラ・ティフィンくんは、ハリウッドでいま売り出し中の女優さんです。ごらんのように可憐なムードが看板ですが、いざ水着スタイルになってみると、小柄な身体でもオヒップやオッパイはお色気たっぷり。ちんまりムードで気どっているあたりは、いささかカマトトお嬢さんですが、黒のアミ・タイツやビキニ・スタイルからは、ほんわかとエロチシズムが香ってくるじゃありませんか。

関東地区成人映画上映館一覧表



大阪地区成人映画上映館

大阪駅

東淀川区
- ▶十三若草劇場 (301) 5929

北区
- ▶天六映画劇場 (351) 9138

都島区
- ▶都島会館 (951) 4651

天王寺区
- ▶鶴橋松竹 (761) 9752

守口市
- ▶守口セントラル (991) 0049

福島区
- ▶吉本キネマ (451) 6793

城東区
- ▶放出シネマ (961) 0664

布施市
- ▶布施映劇 (721) 4990

西淀川区
- ▶野里リボン座 (471) 1 0 8 2

阿倍野筋
- ▶阿倍野名画座 (641) 5885
- ▶千日前オリオン座 (641) 5 4 7 7

難 波
- ▶千日前新オリオン座 (641) 5 4 7 7

名古屋地区成人映画上映館

- ○浄心ハイツ (531) 4118
- ○上飯田劇場 (991) 5714
- ○守山瓢映 0560-(79) 2092
- ○栄生グランド劇場 (551) 6 3 7 9
- ○タカラ劇場 (941) 6076
- ○堀川映画劇場 (231) 0193
- ⊙今池フジ (731) 4763
- ○太閤劇場 (551) 2353
- ⊙テアトル希望 (541) 3044
- ○曙文化劇場 (731) 3806
- ⊙日活シネマ (241) 2345
- ○鶴舞劇場 (881) 8494
- ⊙名画座 (231) 3211
- ○雁道劇場 (881) 8069
- ○日比野東映 (671) 0407
- ○八熊文化劇場 (321) 8194
- ⊙南映画劇場 (811) 4906
- ○新郊劇場 (811) 2730
- ○名港文化劇場 (661) 1269
- ○名南劇場 (811) 6586

月刊「成人映画」通巻第九号 昭和41年6月1日発行 編集兼発行人 川島のぶ子 発行所／東京都中央区銀座東六の四 村木ビル五階 電話（五四一）三七九八 現代工房 定価百円